



## 10月の「博物館見学」の紹介

10月26日（木）に湯口小学校の6年生が博物館見学を行いました。当日は賢治記念館を見学後に来館。湯口地区にかかわる遺跡などについて学芸員から説明を受けたあと、常設展示室～企画展示室と見学を行いました。

社会科の学習に合わせて、最初は江戸時代の参勤交代についての解説をリクエストしていたので、その部分は学芸員が解説。以後は学習シートを使って各自で学習を進めました。

後半は「かがくいひろしの世界展」を見学。最初に学芸員から作者と作品群について説明を行い、その後は各自のペースで見学しました。人気だったのは映像コーナーや手作りの劇場コーナーでした。見て、聞いて、操作して、楽しんでいました。



花巻城



熊堂古墳群



ぶっ



つくし劇場

### 児童代表の感想（一部省略）

- ・社会で習ったことや歴史について、もっと詳しく勉強することができた。かがくいひろしの『だるまん』などの展示を見て、懐かしいなど感じていい思い出になった。
- ・社会で習ったことを問題形式にして解いていくのが楽しかった。今回しっかり見て回ることができてよかった。



©Hiroshi Kagakui

### 「かがくいひろしの世界展」から学ぶ

「だるまん」シリーズの担当編集者だった沖本敦子さんによる Special ギャラリートークが、11/3（金）に行われました。

沖本さんは、かがくい氏の人間性や、人との関わり方で気づかされたことなどについて話されました。それによると、かがくい氏は「**本質をとらえる人**」であり「**マジックタッチ（触れた人も影響を受ける）ができる人**」であり「**ボーダーがない（属性には興味がない…つまり、障害などによる対応の差がない）人**」だったとのことでした。これらのことは、学校現場でも重要な考え方なのではないでしょうか。

これらの考え方を垣間見ることができる「かがくいひろしの世界展」に、ぜひ足を運んでご覧いただきたいと思います。《※12/24まで》

【裏面に続く】

## 10月の出前授業の紹介

10月31日に八重畑学校で、5・6年生の出前授業「八重畑の歴史」が行われました。

これは、11月の同校150周年記念行事の前に、地域の歴史を学ぶことで、地域への興味と地域を愛する心情をさらに強くしたいという願いから生まれたプログラムでした。

当日は、八重畑に数多くある遺跡の話から始まり、八重畑の地名の由来や館の役割、和尚さんから取材した八重畑の昔の様子、そして八重畑の先人までの解説を行いました。



スライド解説



感想発表

### 児童代表の感想（一部省略）

・遺跡や土器などが発掘されているということを知って、そこまで昔の時代から八重畑の文化が続いてきているんだなということと、先人の話をいろいろと聞いて、韓国の女学校がどうだったとか、（宮沢賢治が）具体的に権現堂山についてどう書いたとか、そういう話を資料以外では見たことがなかったので、こうやってわかりやすく説明していただいたのがすごく面白く感じた。

## 3年生の先生へ 出前授業「昔の道具と暮らし」のお知らせ

学校では、評価、そして冬休みの準備が進められているころだと思います。ところで、冬休みが明けて3学期になると、3年生の社会科では昔の暮らしの学習が始まります。例年、多くの学校が出前授業「昔の道具と暮らし」を希望されています。出前授業の良さは、何といたっても実物を見られることと丁寧な解説です。昨年度は、コロナ禍が続いていたにもかかわらず9校が出前授業を行いました。



桜台小



八幡小

そこで、「昔の道具と暮らし」の出前授業を希望されている3年生の先生には、可能であれば学校の予定を確認して、早めに申し込まれることをお勧めします（遅くなると、希望日が埋まってしまっている可能性があります）。

希望される場合は、次の手順で申し込み等をお願いします。

- 1 出前授業希望日と打ち合わせ希望日をそれぞれ3日くらいずつ選んでおく。
- 2 博物館に電話し、出前授業を希望する旨と授業の希望日を伝える。  
（※担当：社会教育指導員…不在時は、学芸係の職員に伝えてください）
- 3 博物館からOKの返事が来たら、打ち合わせの希望日を伝える。  
（※打ち合わせは、基本的に博物館に来館していただいています）
- 4 「依頼書」を博物館ホームページからダウンロード→記入→FAXで提出。
- 5 事後は「アンケート用紙」を4と同様にして、記入→FAXで提出。